

第1章 調査研究テーマについて

1 テーマ設定の趣旨

少子高齢化社会や情報化社会の到来など、急激な社会の変化に伴い、時代の要請する行動様式、価値観が従来と大きく変化し、現実の事態に対応するためには自ら進んで学び、身に付けることが望ましい「現代的課題」が数多く生じてきている、とされたのは平成4年の生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」でした。

それから20年、社会の変化はさらに加速度を増し、本格的な人口減少社会、グローバル社会の到来は、青森県内にも大きな影響を与えています。厳しい経済状況の中、産業構造・就業形態の変化が、地域社会や家庭生活に影響を与えています。また、平成23年度から24年度にかけて、青森県の人口は約1万2千人減少し、15歳未満の子どもは約5千人減少しています。地域の学校が廃校になったり、地域の公民館が休館状態になって、学校や公民館を中心とした地域コミュニティの維持が難しい地域も出てきています。

一方で、社会の変化が地域に与える影響は画一なものではなく、複雑に多様化しています。例えば、少子社会の影響も、都市部か郊外か、その地域の歴史や文化、そこに住む住民の職業や家族構成など、様々な要素が絡み合うため、顕在化する問題は同じ「少子化」であっても、その地域で取組が必要な地域課題は全く違うものとして浮かび上がってくる場合があります。行政も細かく複雑・多様化した住民のニーズに対応することが難しくなっています。

そこで、平成20年2月の中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」では、一人一人が社会の変化に対応していくために、自ら課題を見つけ、考え、身に付けた知識や技能を活用して、他者と協力しながら課題を解決していく総合的な「知」が必要であると指摘されています。また、個人の自立と地域コミュニティの形成への参画が求められ、社会教育行政には「個人の要望」と「社会の要請」のバランスの視点を持つことが重要であるとともに、人間的価値・社会的価値・経済的価値等の調和を図る視点が求められています。

そして、平成22年6月の政府による「新しい公共宣言」においても、地域の新たなコミュニティづくりを住民が主体的に行っていくことの重要性が述べられ、地域が抱える課題は多種多様であることから、地域住民等が課題についての理解を深め、必要な知識等を身に付け、解決策を検討し、地域の状況に即した手法で具体的取組につなげていくことが必要であるとされています。



私たち第30期青森県社会教育委員は、住民が主体的に地域を学び、地域課題に気づき、解決を考え、協力しながら行動する、このプロセスがまさに社会教育であると考えます。そして、時代の変化の中で、複雑で多岐にわたる今日的課題・地域課題が

顕在化する中、社会教育はどのようにその課題に向き合い、住民一人一人の主体的な学びを支援し、地域活動への参画を促すのか、そのことを明らかにすることが重要であると考え、テーマを「時代の変化に対応した(今日的課題に取り組む)社会教育の在り方」と設定しました。

2 調査研究の方法と方向性

今日的課題・地域課題に取り組む団体・施設等は、目的や取組の内容が多岐にわたる上に、その活動の規模やこれまでの経緯、地域性なども多様であることから、アンケート等を利用した統計分析的な調査研究ではなく、できるだけ多くの団体・施設・活動の現場を実際に訪問し、それぞれについて質的観点をふまえ、考察することとしました。

また、調査研究テーマへのアプローチとして、5つのプロセス(次ページ図参照)を設定し、調査の観点等の共通認識を図った上で、全委員の協力のもと県内の団体・施設・事業等を実地調査しました。



調査研究の「プロセス①」から「プロセス③」については、第2章で述べています。

県の社会教育委員から出された地域の現状と課題、社会教育の現状と課題に対する意見等を、グルーピングにより整理し、地域課題と社会教育の関わりについて考察しています。



調査研究の「プロセス④」については、県内で今日的課題・地域課題に取り組む団体・施設等の情報を広く収集し、「プロセス③」までに整理した地域課題と社会教育の課題について、より深く考察することを目的に、県内18の団体・施設・事業等を選定し、実地調査しました。



実地調査の結果と分析から、「プロセス⑤」として今日的課題・地域課題に取り組む社会教育の在り方についてまとめたのが第3章です。地域の課題や要請に対して、社会教育に関わる個人・団体・行政等が今後どのように取り組むべきかを考察しています。



実地調査した県内の事例について、その先進的な取り組みや柔軟な発想、時代に合わせた活動の工夫等を、第4章で紹介しています。

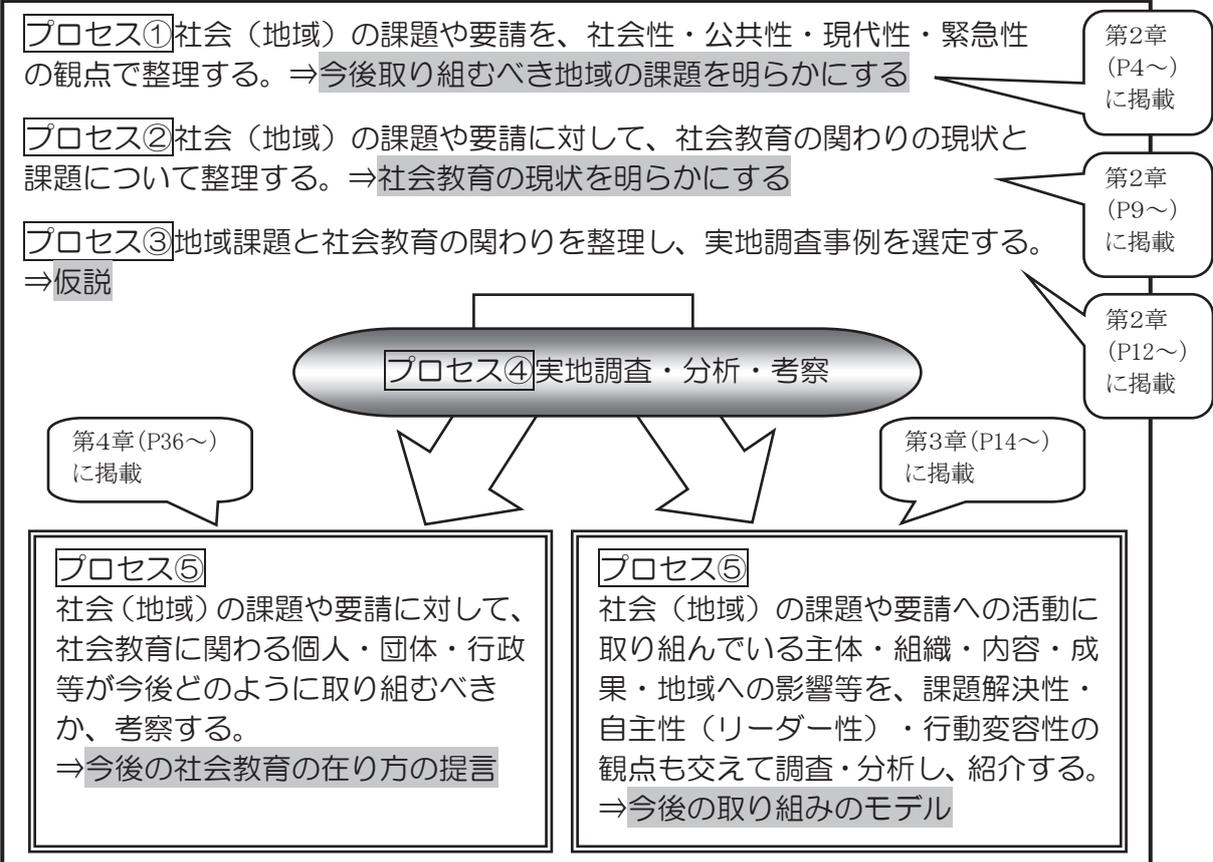


第30期青森県社会教育委員による調査研究のプロセスとイメージ

1 調査研究テーマ

「時代の変化に対応した(今日的課題に取り組む)社会教育の在り方」

2 調査研究のねらいとプロセス



3 調査研究イメージ

